

議会だより



「提案実現を信じて」

2月24日(火)に議場にて最上中3年生による「ゆめ議会」が開催されました。P4の「私の想い」では議長役を務めた2人へのインタビューを掲載しています。



3月 定例会

CONTENTS ◎ 目次

- 02. 特集「提案実現を信じて」最上中3年生によるゆめ議会開催臨時議会
- 05. ピックアップ議案審議
- 08. 令和8年度予算特別委員会
- 12. まちの未来を問う 5議員が一般質問
- 15. 最上広域市町村圏事務組合新年度予算・表彰



「1本の桜」

自宅がある上満澤から向町へ向かう道路沿いにある田んぼのあぜに1本の桜が生えています。春には花を咲かせ、夏には緑葉の下で休憩している姿を見守り、秋は葉を落とし、冬は雪の中でじっと春がくるのを待つ様子など、そんな何気ない風景が好きです。皆さんは最上町で好きな風景はありますか？
(宮本 浩)

もがみの魅力再発見

めっけ!

議会の主な動き

1月8日(木)

新春賀詞交換会

株式会社DMC天童温泉 旅行事業部部長 鈴木誠人氏をお招きし、天童温泉の旅館経営者が手を組み地域と共に持続可能な観光地域づくりを目指して立ち上げた経緯や取組みについて基調講演が行われました。その後に行われた懇親会ではまちづくりやこれからの観光事業について語りあい参加者の親睦を深めました。



2月2日(月)

議会広報編集委員会視察受け入れ

中山町議会広報常任委員会より視察研修の依頼があり広報編集委員が参加しました。議会広報の概要や方針、発行までのスケジュールや記事の内容について質問があり、議会広報発行についての意見交換が行われました。



3月14日(土)

最上中学校卒業式

第40回最上中学校卒業証書授与式が行われました。在校生代表の送辞では涙ながらに卒業生への感謝と敬意の言葉が述べられ、卒業生代表の答辞ではチャレンジすることの大切さや培った団結力など3年間の思い出と仲間との別れを惜しむ言葉に会場全体が感動に包まれ50人が学び舎を後にしました。



3月定例会

議会インターネット配信

傍聴者数

視聴回数

13名

2961回



2026 NO.192

最上町議会だより

発行 / 最上町議会広報編集委員会
最上町役場 / 山形県最上郡最上町大字向町644
デザイン・印刷 / 合同会社 クロスプランニング



議会HP

議会傍聴のご案内

次回の定例会は
6月定例会です

お問い合わせは議会事務局まで
☎43-2362 (直通)



議会だよりアンケート

提案実現を信じて

～ふるさと探究学習の集大成!最上中3年生が町へ提言～



今回も中学校でのリハーサルに議員が訪問し、アドバイスをさせていただきました。

議会をより身近に感じてもらう目的で開催されている「ゆめ議会」が今年2月24日(火)に開催されました。1年生から取り組んできた地域学習に加え、修学旅行の企業訪問で学んできた知識を取り入れながら選出された4グループが提言を行いました。



- GROUP 1**
- 班長** 菅 晴翔
副班長 飯島 康成
 伊豆倉 杏奈
 庄司 凜奈
 瀬川 宗太

問 町で起業をしたいと思つた時の制度やサポートは、町内での起業を希望する方へ、補助金活用や経営計画・資金調達などを商工会と連携しながら伴走支援しています。販売面でも道の駅や産直・物産協会と協力し、夢を実現できる町を目指してまいります。(町長)

提 最上町の素材で「作る最中」

最上町の課題である人口減少を解決するために日本の伝統的な和菓子と最上町の特産品を組み合わせたモナカを提案します。修学旅行で訪れたモナカの皮を製造している会社からヒントを得て、食感・見た目・自由度のあるモナカが良いのではないかと考えました。あんなには普通なので、モナカの皮を生地にしたアスパラピザや、最上牛の野菜炒め、くじら餅を挟んだものを考えました。

答 実際に試作をしてみました。水分に弱く日持ちしないので、その場で食べられるように道の駅での販売を想定しています。新しい商品を開発することで生産工場や雇用が生まれ、人口増加も期待できます。

答 町のにぎわいを取り戻し高齢者にも喜んでいただく食品開発として、最上牛やアスパラガスなど町の特産品を生かした「モナカ」を作るとの発想は今までにないものです。モナカの弱点である水分に配慮した研究は大切なポイントです。商品化には更に研究を深める必要があると感じますが、SDGsを意識し関係機関と相談しながら商品化を検討してまいります。(商工観光課長)



問

好奇心や探究心を育てる3Dプリンタ等の機器導入の取り組みは。

答 この機材は子どもたちの好奇心や探究心を育てるツールとして注目されており、新しい発想やものづくりの楽しさを学ぶことができます。費用や指導者育成も含めて計画し、子どもたちの成長につながる取り組みを進めてまいります。(町長)

提 幼児向けの「飲める絵の具」を開発します。

修学旅行で株式会社へんてるを訪問した時に感銘を受けた「表現するよろこびを育む」に着目しました。そこで私たちは、子どもの教育にいいとされる好奇心や探究心を育み、学習意欲の基礎を作ることとを目的に安全で楽しく教育にいい商品を作りたいと考え、特産のアスパラガスやリンドウなどの自然素材を使用し、万が一、口に入っ

ても害のない絵の具を提案します。飲める絵の具を通して、最上町の資源を活かしながら子どもたちが安心して自由に表現できる環境を作りたいと考えています。

答 提案された商品の強みは、子ども達の教育に良いものをテーマに楽しさと安全の2つの観点から追求し、それを当町の特産品であるアスパラガスとつないだ点にあります。開発生産コストを抑えるために規格外に着目した点は、訪問先の商品開発の担当部門も納得できるような内容であり、最上町の特産品と最上中のアイデアを生かした共同開発の期待が膨らむ提言であると受け止めます。(教育長)

問

特産品の支援と特産品や名所のアピール方法は。

答 アスパラガスなどの園芸作物の拡大に向けた県・町の助成制度があり、菌床シイタケやタラノメなど年間を通じた農業収入の確保も推進しています。直売所やイベントでの販売・PR、観光案内所やSNS等での情報発信にも取り組んでまいります。(町長)

提 最上町で育てた植物でアロマをつくる

修学旅行で(株)アットアロマに訪問し、アロマ産業はこれから成長が加速するという話を教わりました。自然豊かな最上町でアロマに活用できる植物を栽培することができれば地域が活性化されます。栽培場所として赤倉温泉スキー場を考えています。雪が降らない時期に栽培することでスキー場の活性化も期待できます。

私たちが注目した植物はローズマリーです。ふるさと納税を活用し、特産品を増やしていきます。抽出後に残ったものも乾燥させ芳香剤や肥料、入浴剤を作るSDGs的な活用も併せて提案します。

答 町には耕作されていない農地が約30haあり、その自己保全農地をお借りできればアロマオイルを作るための植物を栽培することは不可能ではありません。アロマオイルをふるさと納税の返礼品として扱っている市町村もあるようです。

注目はべき点は材料を最後まで使いきることと、SDGsを意識した良い提案だと思います。アイデアで農業を引っ張る人材が生まれることを望んでいます。(農林振興課長)

- GROUP 2**
- 班長** 佐藤 迅
副班長 佐藤 楓
 阿部 泰雅
 岡野 栄純



- GROUP 3**
- 班長** 大場 元貴
副班長 五十嵐 健太
 松井 結衣佳
 二戸 愛美里
 大場 亜紗



問 観光客を増やすための取り組みは。

答 SNSやショート動画で最上町の魅力を発信しています。瀬見 赤倉温泉、封人の家、前森高原など豊富な観光資源を道の駅がつなぎ、季節ごとのイベントで賑わいを創出しています。若者が自由な発想で活躍できる支援にも取り組んでまいります。(町長)

提 飲み物で 最上町を豊かに

などにも設置し収益アップを目指します。規格外野菜を使用することでコスト節約や野菜ロスも解決できます。最上町を活性化させるため実現に向けて検討してください。

答 商品化には商品開発、経営戦略、事業化計画などの手順が必要であり、特に資金調達や金融機関との交渉は事業化に向けた重要なポイントになってきます。このスムージーの提案については、説得力のあるプレゼン内容でした。健康づくりのために町で普及させたヤーコンに注目していただき嬉しいです。特産品を活かしたスムージーについて物産協会、産業振興センターと実現の可能性を探求してまいります。(商工観光課長)

修学旅行で見かけた生搾りジュースの自販機ではオレンジジュースが1杯500円で販売されていました。素材を目の前でスムージーにすることに価値を感じ、視覚的魅力と、人件費削減の観点で最上町の特産品であるヤーコンやアスパラガスを活用した自販機でのスムージー販売を考えました。ヤーコンは栄養価の高さで究極のダイエット野菜と言われています。原価や維持費などを考え、国道沿い

班長 板垣 貴大
副班長 赤川 萌々香
菅 文瑠
伊豆倉 優杏



2026 **1**月 **臨時会**
1月16日(金)

Pick up!
**物価高騰緊急支援事業に
1億1735万円**

問 国からの物価高騰対応に伴う交付額は。

答 当町に割り当てられた交付額は、1億7198万円となっており、そのうち食料品等への支援という名目で3449万9000円の配分がなされており。

問 具体的な事業内容は。

答 新年度で予算化するものも含めて全体で7点程の補助事業を考えていますが、今回は早急に取り組む事業として、生活応援商品券事業、高齢者施設向けに食料品や燃料代に對しての支援、小中学校の光熱費への支援の3事業を考えています。

問 商品券事業に対し、町で支援額を1万5000円にした理由は。



答 他市町村では、交付額のほぼ全額を商品券で町民に還元しているところもありますが、当町では福祉施設や教育施設などの高騰している燃料代への予算にも投じたという思いから、若干、商品券の支援額を下げつつ、新年度に計上する賃上げ環境整備支援事業等も含めて各分野に配分させていただきたいと考えています。

私の想い

二戸 心菜 さん
赤川 菜々美 さん



実際に議長役を務めてみて

赤川 実際に議長席に座ってみて、ここでまちづくりの議論がされているのだなと感じました。また子どもである私たちが発言できる機会をいただき、子どもの意見を聞き入れてくれる場所があるのだと実感しました。先輩が最上町のカルタを実現させているのを見て、私たちもそれを目指して頑張ろうと思つてやってきました。

二戸 議長席から発表する生徒の生き生きとした表情が見られて、真剣さが伝わってきましたし、本当に最上町を活性化させたいという気持ちが出ました。私たちは1年生の頃からずっと個人で地域学習を行ってきた、そのまとめが今回の提

案だったので、長い間頑張ってきたことを4グループそれぞれがゆめ議会の場で発表してくれて、とても感動しました。

二人が感じる最上町とは

赤川 交通や移動の不便さは感じますが、人が少ない中でも登下校やお祭りなどでまちの方が声をかけてくれるので安心して外出できるまちだなと思います。都会では挨拶する機会もないと思うので、挨拶は最上町の魅力の一つだと思います。

二戸 小学校でも中学校でも最上町は子どもを大切にしてくれているなと感じます。また、桜祭りなどでのステージを見てみると、とても明るい町だなと思います。町民の方ともたくさん交流できるのも楽しいですし、安心感があります。

これからの進路について

赤川 動物に関わる仕事に就きたいなと考えていましたが、もがみ未来塾での体験からいろいろな選択肢が広がって考えているようです。

二戸 私は看護師を目指しているのですが、やはり未来塾で看護師の仕事を経験したことがきっかけです。患者さんを笑顔にできるような看護師を目指しています。



▲ゆめ議会の録画映像をご覧ください！

Pick up!
**みちのくウエストライン整備促進へ
特別委員会を設置**

設置理由

『石巻新庄道路』は、宮城県石巻市から大崎市を経て、山形県新庄市に至る高規格道路で、『新庄酒田道路』とあわせて、東北中央部における東西交通軸『みちのくウエストライン』として極めて重要な道路です。太平洋、日本海地域を結ぶ大動脈として、石巻・大崎・新庄最上・庄内各沿線地域の産業経済活動の活性化はもとより、広域観光周遊ルートの形成など、地域の発展に新たな可能性を生み出しています。災害時には、救援活動や物流面で、まさに『命の道』として、地域住民の生命と生活を守るための重要な横軸の道路であり、早期整備が求められているものです。

委員長 尾形 勝雄
副委員長 佐藤 義男

このような状況を踏まえ、議員全員での協議を経て、『みちのくウエストライン整備促進』をテーマとし、これからの道路計画、整備について国をはじめ、関係部局、町執行部に対して強力に働きかけを行うべく、議員全員で構成する特別委員会を設置しました。



3月定例会が、9日間の会期で開催されました。町長からは「協働でつくる 未来へつなぐ 持続可能なまちづくり」として令和8年度における町政運営の基本的な考えが示されました。提出された議案では人事案件から令和8年度予算、追加議案までの全32件あり、全ての議案を全員賛成で可決しました。

Pick up! 議案審議

地域未来交付金を活用し 災害時だけでなくイベント時にも使える備品購入



トイレトレーラー バリアフリー用スロープ 移動式煮炊き窯 ※写真はイメージ

- 主な備品購入
- ・トイレトレーラー
 - ・バリアフリー用スロープ
 - ・ワンタッチテント、折りたたみ机、イス
 - ・移動式煮炊き窯
 - ・備品格納倉庫

財源内訳

地域未来交付金	3733万円
地域防災緊急整備事業債	2470万円
一般財源	1997万円
合計	8200万円

問 トイレトレーラーは、災害時以外は河川公園近くに常設するということが、冬期間の置き場や清掃、イベント時などの運用は。

答 トイレトレーラーは、災害時以外は河川公園近くに常設するということが、冬期間の置き場や清掃、イベント時などの運用は。センターを考慮しています。また清掃については、下水処理場の清掃委託とし、イベント時には職員が運転して活用していきます。

Pick up!

封人の家 観覧料改正

問 観覧料金を増額した経緯と来場者数の状況は。

答 今回の交付金のように補助金や起債、特別交付税措置の三拍子揃った事業はめずらしいですが、日頃より課題を各課で共有して、なるべく一般財源の支出を抑えられるよう有利な事業に手を挙げられるように、しっかりと準備してきましたらと思えます。

問 これからも町のビジョンを明確にして、有利な補助金や交付金が出た際には、すぐに手を挙げられるようにしてほしいが。

答 想定している避難所9カ所(旧小学校体育館)をイメージした形で備品の購入数を設定しました。各集落や地区で行っている訓練等にも活用してもらえればいいと考えています。

問 災害時の炊き出し備品も多くあるが、体制や計画は出来ているのか。

答 観覧者数が減っていることが要因の一つになっています。

令和5年度では3000人を超えていた観覧者も今年度は2750名程となっております。管理する経費も鑑みながらの料金改正になります。

問 展示物や音声ガイドン、パンフレットの見直しなどの新たな取り組みは。

答 文化財保護審議会の方などの意見もいただきながら、歴史的な価値を損なわずに忠実に管理していく部分と広く観光客の方に付加価値をつけて紹介できる部分を考えながら管理していきます。



封人の家のさらなる魅力づくりが求められる

Pick up!

誰でも通園制度

問 実施日、対象者や受け入れ場所、職員体制は。

答 令和8年4月1日から実施します。対象は生後6カ月から3歳未満の保育所などに入っていないお子さんです。受け入れ場所は子育て支援センターで一日最大3人までの受入



子育て支援センターが受け入れ場所に

れが可能で、子育て支援センターの職員で対応し、状況に応じてはあたごも園に在籍する本制度の担当職員が対応いたします。

問 利用料金と財政負担は。

答 国が定める1時間300円、月10時間利用を上限にしています。財政負担については、国の事業推奨であるため財政負担はありません。

Pick up!

今シーズンの除排雪

問 他市町村では除排雪が間に合わなくて問題が出ていたが、当町の状況は。

答 町道に関しては問題ありませんでしたが、県道では歩道に堆雪して視界不良の場所が多々ありました。また、雨

が降り雪が解けた状態の道路で自動車の走行に不便をおかけしたこともあり。今後、そうならないように天候を予測しながら取り組んでいきたいと思えます。

問 今年度から新たに導入した除雪管理システムの運用状況と新庄市が本県初で取り組んでいる市道と国道を一体的に除雪する「スクラム除雪」、当町での可能性は。

答 町除雪の請負業者にとつては従来の紙で管理していたものからデータで管理できるので事務量の負担軽減につながっているほか、突然屋根から雪が落ちて道路をふさいでいる場合に、近くの除雪車に対応してもらつたなどの効率的な運用にもつながりました。「スクラム除雪」については、交差点などの交通量などを加味しての取り組みになるので、当町で取り組むには課題があると考えています。

人事案件

■ 人権擁護委員

かねた あやこ
金田 綾子 氏(月橋) 任期:令和8年7月1日から令和11年6月30日まで

■ 人権擁護委員

なかしま としゆき
中嶋 寿幸 氏(若宮) 任期:令和8年7月1日から令和11年6月30日まで

■ 固定資産評価審査委員会委員

ほそや まさみ
細矢 昌美 氏(本城) 任期:令和8年4月1日から令和11年3月31日まで

- 令和8年 -

3月定例会審議案

■ 人事案件 …… 2件

・人権擁護委員の推薦

■ 同意 …… 1件

・固定資産評価審査委員会委員の選任

■ 承認 …… 1件

・令和7年度最上町一般会計補正予算の専決処分承認

■ 条例の設定 …… 1件

・特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例設定

■ 条例の改正 …… 7件

・特定個人情報提供に関する条例
・一般職の給与に関する条例
・重要文化財旧有路家住宅管理条例
・過疎地域の持続的発展計画の策定
・火入れに関する条例

■ 契約の締結 …… 1件

・浄化槽整備事業

■ 計画の策定 …… 1件

・過疎地域持続的発展計画

■ 協定の変更 …… 1件

・新庄最上定住自立圏の形成に関する協定

■ 令和7年度

一般会計・特別会計
補正予算 …… 8件

■ 令和8年度

一般会計・特別会計
予算 …… 9件

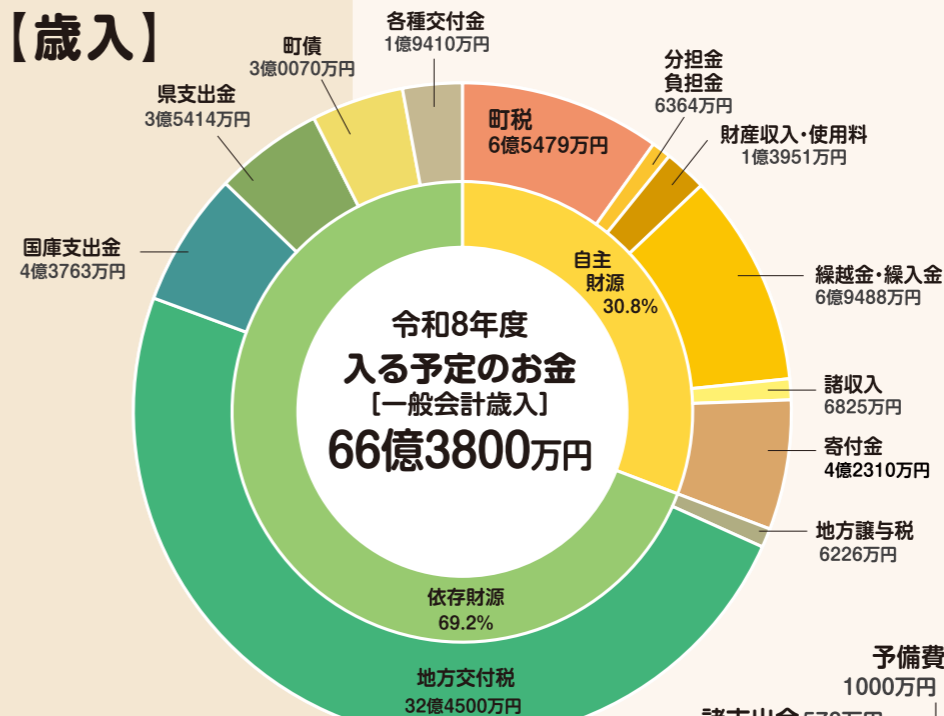
計32件

全員賛成で可決

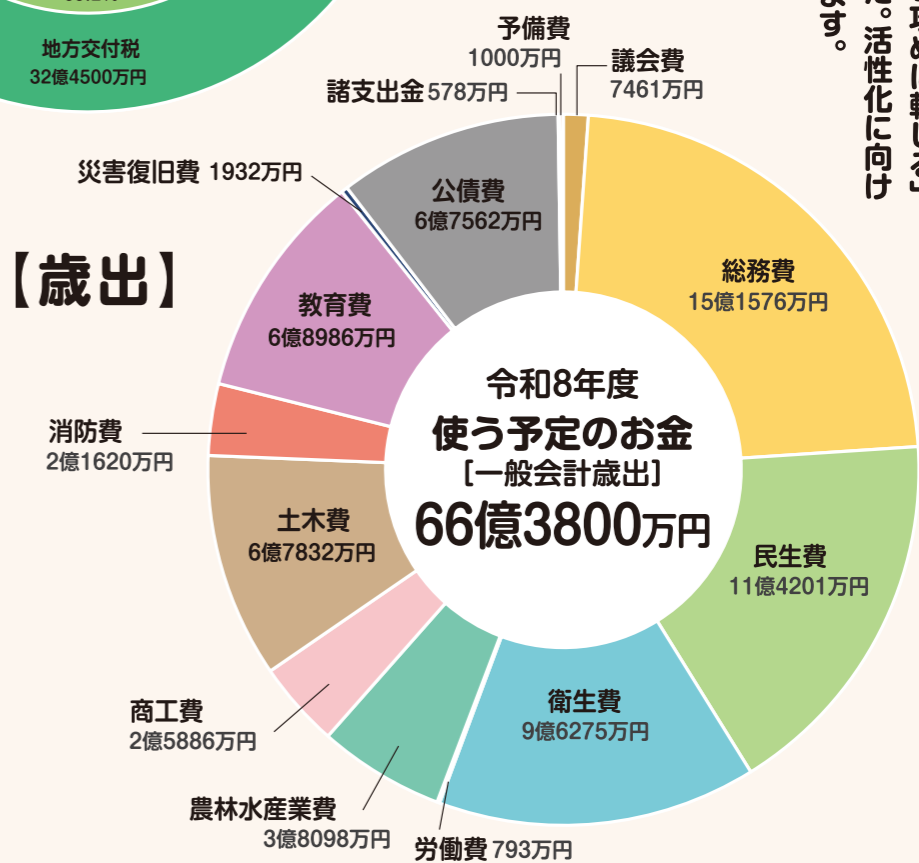
先を見据えた調整型の予算

縮小社会を見据え「守りを固めつつ攻めに転じる」構成となっていると説明がありました。活性化に向けた積極的な取り組みが求められています。

【歳入】



【歳出】



令和8年度 予算 特別委員会 予算審議

委員長 宮本 浩
副委員長 佐藤 義男

会期:3月6日(金)、9日(月)、
10(火)、11日(水)の4日間

質問回数265回
答弁回数293回

Pick up!

前森地域活性化 施設が町営へ

問 令和7年度で指定管理者が解除となり令和8年度から町営となるが、これからの体制づくりは。また、いつ頃の営業開始を考えているのか。

答

ゴールデンウィーク期間を目途に引き馬体験とコテージ営業の開始を予定しています。まずは馬の管理2名、宿泊部門2名の4名体制でスタートする計画です。ピアハウスは前事業者の際に赤字事業となっており、現段階では閉鎖し、今後活用への申し出があれば貸し出しも検討してまいります。アイスクリーム部門においても食品衛生責任者の資格が必要のため、人材確保などが整い次第再開を目指します。ハム工房は運営に別途資格が必要とのこと、赤字部門になりますので継続については検討してまいります。



観光客に人気の前森高原の乗馬体験

問

最上町ならではの商品づくりとしてハム工房をジビエの加工所として活用できないのか。

答

食肉処理をする許可はないため、ジビエの加工をする場合、大規模な改修が必要となります。また、採算が取れるほどの頭数を町内では捕獲できないため、現在のところは検討しておりません。

問

予算では前森高原の運営費から収入予測を差し引いて1500万円程度の持ち出しになっており、前事業者と比較して負担が増えている理由は。

答

町営として稼働する初年度ということと、年間収益を低めに設定し半分程度で見積もっております。有識者も交えた円卓会議も立ち上げ、活性化に向け取り組んでまいります。

Pick up!

観光地の魅力づくり アドバイザー 業務委託料

問 事業内容は。また、どこに委託するのか。

答

総務省の地域力創造アドバイザー制度を活用して実施してまいります。地域独自の魅力価値向上のために、知見やノウハウを持つ外部アドバイザーを支援するもので、最長3年間の特別交付税措置となる事業です。令和7年度に観光庁の補助金を活用し最上町のアドバイザーとして入っていただいている一般社団法人まちの魅力づくり研究室を招聘して実施する予定です。

Pick up!

除雪機購入補助金

問 新規事業となっているが、事業の内容はどのようなものなのか。中古品の購入には使用できるのか。

答

補助率1/4で、上限10万円。中古品やトラクターに取り付ける機種もありますので、今後検討しながら補助要綱を整備いたします。

主な新規事業

- 協働のまちづくり推進事業 280万円
- 最上町DX推進事業 540万円
- 除雪機購入支援 150万円
- 前森地域活性化施設運営費 2510万円
- 生成AI利用料 92万円
- ゼロカーボンシティ推進事業補助金 3590万円
- 最上町ハザードマップ更新業務委託料 360万円
- 不妊治療費助成金 200万円

Pick up!

DX推進支援業務委託料

問 今年度の重点事項と具体的な内容は。

答

引き続きDXアドバイザーの協力を得て推進本部・チーム会議を運営し、町のDX推進を進めます。また、町の公式LINEについては令和9年度導入に向けて取り組んでまいります。

Pick up!

ゼロカーボンシティ 推進事業補助金

問 太陽光発電取付け時の補助金について。

答

太陽光発電の取付けは1kWあたり12万円、最大で93万円です。蓄電池補助金については1/3の補助額で上限が60万円となります。

みんなの議会 ①

太陽光発電とポータブル蓄電池を連携し、電気を「自給自足」し、電気代削減と停電対策を同時に実現しています。私はポータブル蓄電池(計5kwh)に日中蓄電し、夕方以降にその電気を使っており、かなりの節電になっています。

結城 修悦さん (満沢)

Pick up!

温水プール水泳槽 改修工事

問 工事期間と工事内容は。

答 水泳授業と、夏休みのプール利用を終えた後から3ヶ月間と考えています。工事内容としてはプール底の修繕とプール内壁の劣化が激しく、剥がれも見受けられることから大規模な内装工事が必要となります。安心安全に使用できるように長寿命化に努めてまいります。

Pick up!

児童遊具購入事業

問 どのような遊具を購入するのか。

答 巡回型遊び場で使用する遊具を昨年度購入分に追加して購入いたします。



中央公民館でのプレオープンの様子

Pick up!

ハザードマップ 更新業務委託料

問 近年災害が頻発しているが、ハザードマップ配布後の活用方法は。

答 防災訓練での活用や家族での確認を促し、自宅周辺の危険性を周知してまいります。学校での年間活用や、サロン活動・出前講座での普及も進めてまいります。

Pick up!

6次産業活性化 推進施設運営費

問 6次産業化を今後どう進めていくのか。旧満沢小学校らいつを誰も使える加工場として活用できないのか。

答 現在地域の農家レストランとして使用しており、複数団体の使用を目的とした施設ではありませんので、他団体への貸し出しは現在のところ想定していません。加工場としては前森高原の農遊館があります。加工して試作品を自分で食する分には使用可能な施設となっておりますので、加工品開発希望者には様々な提案をしながら応援して行きたいと思っております。

Pick up!

小学校給食費無償化

問 給食費無償化に向けての取り組みはどのように進んでいるのか。

答 来年度、国では学校給食の抜本的な負担軽減策を進めています。国が公立小学校へ通う児童1人当たり月額5200円×11か月分を支給するといった内示がありました。中学校に關しましては、対象外となっております。現在小学校では1食当たり285円・中学校では1食当たり315円といった保護者負担となっていました。来年度から小学校の給食費負担は国からの交付金を活用するため、実質負担なしとなります。中学校に關しましては、今年度と同様の保護者負担となります。

Pick up!

ダムサイト広場 整備事業

問 ダムサイト広場整備事業の内容はどのようなものなのか。また、イベントなどの企画は考えていないのか。

答 当初、最上小国川の流型ダム管理棟付近の広場に広域連携事業「山形・福島・新潟の四季の魅力あふれる資源を活かした広域観光活性化計画」でキャンプ場を計画していましたが、昨今の熊被害等

Pick up!

生成AI利用料

問 生成AIの活用でどのような効果を見込んでいるのか。

答 議事録・事務書類の作成等に活用します。費用対効果の試算では、職員200名が1日5分の業務を短縮した場合、年間で約800万円の人件費削減が見込まれます。

Pick up!

旧農協跡地の使用方法

問 今後の予定や計画は。現在は雪の置き場として使用しており、活用方法を議会で議論すべきでは。

答 立地適正化計画を策定中で、向町エリアを中心に旧農協跡地も計画エリアに含まれています。計画が整い次第、議会へ報告いたします。



有効な活用が求められる旧農協跡地

Pick up!

教育環境整備

問 将来の児童数減少に対応してどのように対応していくのか。

答 今年度、教育環境整備検討委員会を立ち上げ、保護者アンケートの取りまとめ結果を保護者・教育関係者と共有するとともに、他自治体の学校視察研修を実施しました。来年度も関係者と連携しながら、最上町の義務教育のあり方について丁寧かつ迅速に対応してまいります。

Pick up!

中学校の空調設備

問 工事請負費の詳しい内容と、体育館の冷房設備整備の今後の考えは。

答 ①空調機器設置工事…体育館ではなく、使用頻度の高い4階多目的ホールに設置を予定し、部活動後のミーティング等での活用を想定しています。②ボイラー更新工事…故障した1機と、同時購入の1機を併せて2機更新します。③バリアフリー化工事…段差解消と階段昇降機の設置により、移動困難な生徒が安全に利用できる環境を整備します。体育館の冷房設備については、今後有利な補助金などを探りながら前向きに検討してまいります。



駐車場に整地予定の現場

Pick up!

不妊治療費助成金

問 不妊治療を希望されている方が全国的に増えているが、この助成金は町独自の取り組みか。また何名分か、周知方法は。

答 県の取り組みに町が上乗せした独自制度で、1人10万円・2名分です。広報やホームページ等で周知してまいります。



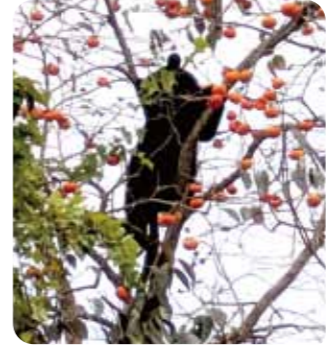
検討委員会で戸沢学園を視察

Pick up!

有害鳥獣対策費

問 有害鳥獣被害対策推進事業補助金の増額内容と、新規の野生鳥獣市街地等出沒対策事業費補助金の内容は。

答 増額分は電気柵導入の補助金で、県10万円・町10万円の合計20万円です。新規の野生鳥獣市街地等出沒対策事業費補助金は、住宅から半径200m以内の不要果樹の伐採補助金で、1本あたり最大4万円となります。



クマ被害につながる不要果樹

Pick up!

協働のまちづくり 推進事業

問 協働のまちづくり推進事業の内容は。

答 令和7年度までの集落自治活性化応援交付金に替わり、令和8年度から新たな制度を設けます。1型は前年度を踏襲し、1件上限5万円(食費3万円まで)です。2型は挑戦型とし、各集落や団体の新たな取り組みを集落支援員が伴走支援する形で、1件上限20万円となります。



協働のまちづくり交付金

みんなの議会

協働のまちづくり補助金を活用し、子どもからお年寄りまでの他世代交流の出来る取り組みが期待できます。私の住む本城地区では自主防災と芋煮会のコラボレーションなどを行ってみたいです。

みんなの議会 ③

たてあが ましはる
楯岡 芳晴さん
(本城)



まちの未来を問う

5 議員が一般質問

- 発言順 1 栗林 浩子 「町民の健康寿命を考慮した冬場の健康づくりと最上の冬を楽しむイベントの開催について」
- 発言順 2 須貝 康幸 「過去一般質問について」
- 発言順 3 山崎香菜子 「空き家勉強会の開催を」
- 発言順 4 佐藤 正市 「第5次総合計画（前期）の達成度と後期計画の目玉は」
- 発言順 5 佐澤 浩 「公共施設の現状と今後の在り方について」
- 発言順 6 須貝 康幸 「今シーズンのスキー場の営業状況について」
- 発言順 7 佐澤 浩 「7期目への進退の決意を問う」

一般質問とは
議員の調査研究、住民の声や自身の考え方をもとに、町長や教育長などの方針を問うものです。

問 議員質問 **答** 町長答弁 **答** 教育長答弁
※掲載している文章は抜粋したものです。詳しくは各議員のQRコードからご覧下さい

冬の健康づくりイベント開催は行政主導ではなく地域活動に期待

問 健康寿命を考慮した冬の健康づくりには、ふれあいの里ゲートボールセンターの健康づくり大会や練習会を開催できないか。向町灯々祭に変わる冬のイベント開催を支援してはどうか。

答 健康寿命を考慮した冬の健康づくりには、ふれあいの里ゲートボールセンターの健康づくり大会や練習会を開催できないか。向町灯々祭に変わる冬のイベント開催を支援してはどうか。

小国駒馬産の歴史と民俗資料展示

問 旧小国郷は名馬の産地であり、昭和30年代まで軍馬を生産するなど県内随一の馬産地であり最上町を特色づける産業であった。馬具や古民具は旧月橋小学校で保存管理されており歴史教育に役立てることはもちろんだが、観光客向けの展示が必要ではないか。

答 足腰若返りクラブなど他の地域に向いて行う教室もあり、単に運動不足の解消を目的とするだけでなく、心の健康、社会的つながりを維持することを念頭に実施しております。



旧月橋小学校の馬具展示



くりばやし ひろこ 栗林 浩子議員



質問のねらい
冬の賑わい創出は行政が方向性を示す必要があり、地域に密着した集落支援員の手腕が発揮されるのではないか。馬産の歴史や昔語りの伝承に力を注ぎ、観光に結びつけてはどうか。

子ども遊び場の充実

問 私が議員となり過去の一般質問について、どのように推進し、今後の対応をどうしていくのかを伺います。

答 町内の子どもの遊び場は町管理と集落管理を合わせて20か所あり、遊具の新設はないものの点検や修繕など適切な管理を行っています。少子化や遊び方の変化により利用は減少傾向にあります。子ども交流や地域コミュニティの場として重要であり、今後の在り方を慎重に検討してまいります。屋内型遊び場については大型施設の整備は困難と判断し、既存施設を活用した巡回型の遊び場設置に切り替え、昨年末には中央公民館でプレオープンを実施しました。



おしりやま公園

動画はこちらから



質問のねらい
質問から約3年の年月が経ちどの程度のスピード感で対応をしているのかを町民の皆さんに知ってもらうため。

空き家勉強会の開催を啓発活動を行い解決に取り組みます

問 空き家が増加しており、落雪被害や景観悪化、犯罪の温床など様々な問題が懸念される。特定空き家・管理不全空き家の現状は。また、空き家対策特別措置法の周知や除却費用、空き家バンクの活用、住まいのエンディングノートを用いた勉強会開催など、対策を加速すべきでは。

答 特定空き家は6軒、管理不全空き家の認定はなく、5回の勧告と直近3年で16件の助言・指導を実施しています。今年度はアンケートや広報特集で啓発を行い、今後は出前講座や住まいの将来を考えるきっかけづくりも検討しながら、空き家問題の解決に取り組んでまいります。

問 総合計画の達成度と後期計画の目玉は

答 これまで町民の声を議会に届けてきたが、ほとんど執行されていない。総合計画は本当に民意に沿って進んでいるのか。思い切った事業推進と戦略的な改革が必要ではないか。

答 前期計画では99項目中54項目が達成率80%以上となり、防災・環境分野で成果がでていますが、定住・協働分野や人口減少対策は課題が残ります。後期では子育て・医療・公共交通・DX推進を重点化し、財源確保や広域連携を進めながら、町民の実感につながるまちづくりを推進してまいります。

質問のねらい
次の世代へ負の遺産を残さないためにも、住まいの将来について家族で話し合うことが大切です。町の事業では、やれる範囲ではなく、戦略的改革を行う必要性を感じています。

瀬見温泉から道の駅までの歩道は未整備で危険なため、国へ安全対策を継続して要望してまいります。

空き家活用では二地域居住の需要に対応し、空き家バンク



すがい やすゆき 須貝 康幸議員



住まいのエンディングノートは国土交通省のHPでダウンロードできます



やまざき かなこ 山崎 香菜子議員



動画はこちらから

最上広域市町村圏事務組合 令和8年度予算

最上広域市町村圏事務組合とは、最上8市町村で構成されている事務組合で市町村の枠を超えた共通の行政事務を行っています。主なものとして、消防・救急業務、ごみ処理施設・各種衛生施設、教育研究センター、広域交流拠点施設(ゆめりあ)などの運営を行っています。審議する機関として、組合議会があり、定数18名(うち最上町2名)となっています。

■ 一般会計 **32億8900万円**

■ 最上広域ふるさと市町村圏事業特別会計

少年少女沖縄交流事業費など(派遣費・受入費)

■ 最上町分担金 **3億6966万円**

1124万円

主な事業

- ① **エコプラザもがみ(可燃物処理施設) 3億1677万円**
・ダイオキシン発生抑制装置更新工事(期間:令和9年度)
- ② **もがみクリーンセンター(し尿処理施設) 28億1371万円**
・包括運転管理業務委託(期間:令和9年度から令和17年度まで)



議会だより ダブル受賞



町村議会広報 全国コンクール初受賞

第40回町村議会広報全国コンクールにおいて『議会だより186号』が、企画・構成部門で初めて奨励賞をいただきました。
※応募総数331紙から入選10紙、表紙デザイン賞4紙、奨励賞①企画・構成部門4紙、②編集・デザイン部門4紙、③言語・文章部門4紙が選ばれました。

山形県町村議会広報コンクールで 2年連続の入選(第1位)

応募総数19紙から、『議会だより189号』が昨年に続き入選しました。審査員の講評では、「全ページを通してデザインセンスにあふれた紙面。議会だよりの題字も見栄えがする」、「定例会の議案審議のページは、ピックアップされた議案審議の報告がコンパクトに整理されてわかりやすい。見出しや写真配置は的確で読ませます。このコーナー冒頭にリードを出し、若干の説明をつけるようにしたい」などの意見をいただきました。
今後も町民の方に分かりやすく読みたいくなる広報紙づくりに努めてまいります。

表彰

山形県町村監査委員協議会 町村監査功労者表彰

佐藤 義男 議員

議会選出の監査委員として、在職15年以上勤められたことに対して、受賞されました。誠におめでとうございます。



公共施設の現状と今後の在り方は

町長 持続可能な公共施設管理と財政運営

問 町の公共施設の多くは昭和50年から平成10年に建築され、今後一斉に更新時期を迎え、多額の費用が見込まれます。一方、人口減少による税収減や社会保障費の増大で財政は厳しく、全施設の維持更新は困難と考えられます。そこで、①老朽化の現状と更新費用、②全施設維持の可能性、③統廃合や総量削減を含めた抜本的見直しの考えについて町の見解を伺います。

答 本町の公共施設は老朽化が進み、今後40年間で総額約360億円、年平均約9億円の更新費用が見込まれます。一方、人口は2025年は4,463人まで減少すると推計され、高齢化も進行しています。税収の増加も期待できず、社会保障費や維持管理費の増大により財政は一層厳しくなる見込みです。このため全施設の現状維持は困難であり、施設の統廃合や総量削減、集約化・複合化、計画的な



長寿命化、町有財産の有効活用を進め、持続可能な公共施設管理と安定した財政運営の両立を図っていきます。



さとう まさいち
佐藤 正市 議員

動画はこちらから



質問のねらい

町の公共施設の現状と課題を把握し、将来の人口動向や高齢化率を踏まえ、健全で持続可能な公共施設管理と安定した財政運営と将来を見据えた財政運営の方向性を考える。

7期目への進退を問う

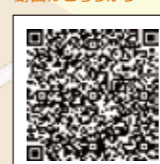
町長 熟慮している

問 高橋町政は、平成14年10月5日から船出をいたし、この町の至尊となられて24年目を迎えられる。これまでの町長の実績は日々、徳業日新に励まれ不偏不党、公平公正を以て至高の大義を貫き通し、永遠の課題であります自治協働のまちづくりなど、艱難辛苦を乗り越え不退転の決意で自分と向き合い、二つの事業に間断なく俯瞰し、孜孜として努めて参られました。その姿勢に心から敬服いたしております。ただ、町民の方々は町長のことをよく見ておられます。4期連続の無投票や6期目就任1年後に、二度の大きな病に伏せ以前のように活動的な姿勢も影を潜めたと、町民の方たちからは身体を心配する声も聞かれます。町長の責任感の強さは理解いたしますが、責任感で病を克服することは出来ません。お身体を番において命を大切にしたいと、支持者の一人として心から願うばかりです。

答 第五次総合計画(後期計画)の明確化の課題など、二つの課題をどうするかも含め、現在の位置づけに全力投球する覚悟であり、進退については、「熟慮中」であります。



動画はこちらから



質問のねらい

今年10月4日をもって任期満了になる事から進退について問うものであります。



ささき ひろし
佐澤 浩 議員